



2024年6月期 第1四半期 決算補足資料

2023年11月14日

ID&Eホールディングス株式会社

証券コード：9161

受注・売上収益は前期比増、各利益は前年同期の株式売却益等計上の反動により減益。

連結業績

- 受注高は**コンサルティング事業、都市空間事業**が好調に推移し、前年同期比で増加。
- 売上収益は**3セグメント**（コンサルティング、都市空間、エネルギー）いずれも手持ち案件が**順調に推移し増収**。
- 営業利益は前年同期のエネルギー事業投資に係る関連会社の株式売却益・有価証券運用益等（約25億円）計上の**反動により減益**だが同計上分を除くと堅調。

(単位：百万円)	23/6期1Q 実績	24/6期1Q 実績	前年同期比	
			増減	比率
受注高	31,836	38,152	6,316	119.8%
売上収益	26,782	31,306	4,523	116.9%
売上総利益	7,103	8,474	1,370	119.3%
営業利益	1,405	▲562	▲1,968	-
税引前四半期利益	1,555	▲265	▲1,821	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	584	▲335	▲920	-

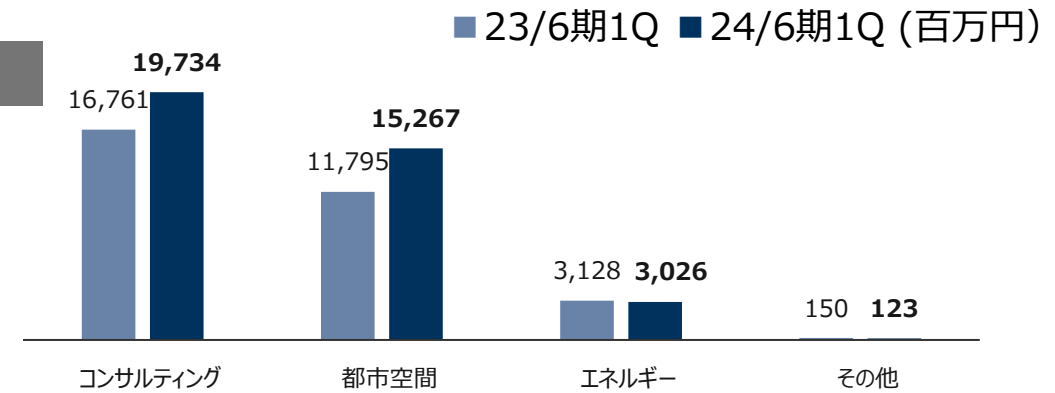
※当社は2023年7月3日付で単独株式移転により設立され、当第1四半期連結累計期間より第1期としてはじめて要約四半期連結財務諸表を作成していますが、従前の日本工営株式会社の連結グループの範囲に実質的な変更がないことから、日本工営の2023年6月期第1四半期連結累計期間および同連結会計年度末（2023年6月30日）を比較情報として用いています。なお、比較に際して当社子会社である株式会社エル・コーエイをコンサルティングセグメントからその他に変更しています。

セグメント別実績

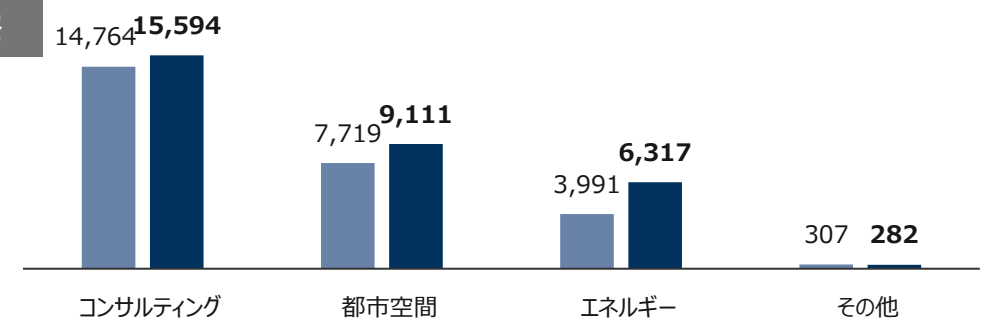
(単位：百万円)	23/6期1Q 実績	24/6期1Q 実績	前年同期比	
			増減	比率
受注高	31,836	38,152	6,316	119.8%
コンサルティング	16,761	19,734	2,973	117.7%
都市空間	11,795	15,267	3,471	129.4%
エネルギー	3,128	3,026	▲102	96.7%
その他	150	123	▲26	82.2%
売上収益	26,782	31,306	4,523	116.9%
コンサルティング	14,764	15,594	830	105.6%
都市空間	7,719	9,111	1,392	118.0%
エネルギー	3,991	6,317	2,325	158.3%
その他	307	282	▲24	92.0%
営業利益	1,405	▲562	▲1,968	-
コンサルティング	▲373	▲504	▲130	-
都市空間	▲157	▲40	116	-
エネルギー	2,312	117	▲2,194	5.1%
その他	▲375	▲135	240	-

※組織再編・分社化に伴い、従来「その他」で負担していた本社分の各社経営管理費用を2024年6月期よりセグメント毎で負担する計上方法に変更しています。

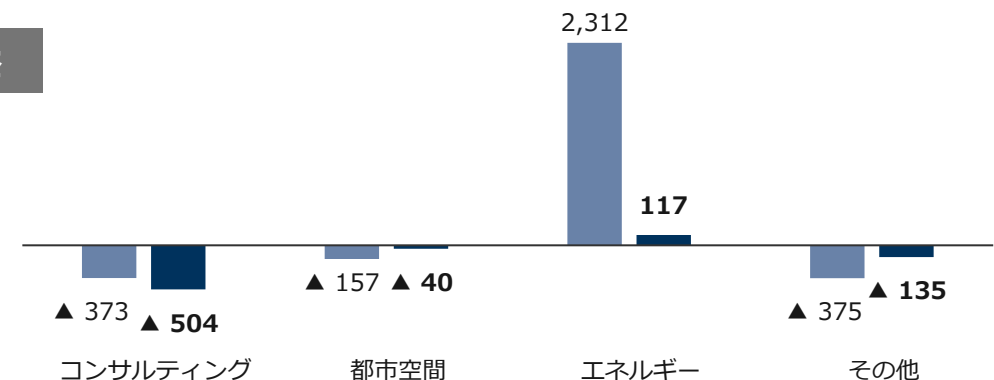
受注高



売上収益



営業利益



コンサルティング事業

- 受注高：国内の受注確保策が奏功、特に国土強靱化関連業務の受注獲得が寄与し、前期比増。
- 売上収益：インド高速鉄道等の海外大型案件の新規開始により稼働率が上昇し、増収。
- 営業利益：分社化に伴う管理費用計上方法の変更、関連費用増により減益。

都市空間事業

- 受注高：国内防衛関連業務の獲得、BDPグループの教育機関・病院施設等の大型追加受注が寄与し、前期比増。
- 売上収益：国内外いずれも前期受注案件が順調に推移し増収。
- 営業利益：国内は分社化に伴う管理費用計上方法の変更があるものの、BDPグループの営業利益率増に伴い増益。

※ 2024年6月期1Q実績レート 1 £ = 183.19円（2023年6月期1Q実績レート 1 £ = 161.97円、2024年6月期計画レート 1 £ = 163.69円）

エネルギー事業

- 受注高：エネルギーマネジメント関連は国内案件の追加受注等獲得したものの、好調だった前年同期と比較し前期比減。
- 売上収益：変電所工事等の電力設備関連事業や国内エネルギーマネジメントEPC事業の好調により、増収。
- 営業利益：製造部門やベルギー蓄電事業は進捗好調であるものの、前年同期に当社関連会社であったPT.ARKORA HYDRO株式の売却益および有価証券運用益の計上等（約25億円）があった反動により減益。

見通しに変更なし。受注高・売上収益・各利益とも過去最高更新を目指す。

(単位：百万円)	23/6期 実績	24/6期 計画	前期比	
			増減	比率
受注高	139,265	155,000	15,734	111.3%
コンサルティング事業	77,712	86,000	8,287	110.7%
都市空間事業	42,566	43,000	433	101.0%
エネルギー事業	18,827	26,000	7,172	138.1%
売上収益	141,527	156,000	14,472	110.2%
コンサルティング事業	81,818	88,000	6,181	107.6%
都市空間事業	38,071	42,000	3,928	110.3%
エネルギー事業	20,855	25,000	4,144	119.9%
その他	782	1,000	217	127.9%
営業利益	6,080	11,100	5,019	182.5%
コンサルティング事業	6,599	7,400	800	112.1%
都市空間事業	▲946	2,700	3,646	-
エネルギー事業	2,974	2,200	▲774	74.0%
その他	▲2,546	▲1,200	1,346	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,093	7,100	4,006	229.5%
ROE	3.9%	9.0%	5.1pt	

各セグメントのコスト負担の見直し

組織再編・分社化に伴い、従来「その他」で負担していた本社分の**各社経営管理費用**を、セグメント毎の負担に移行。

▼従来計上方法での24/6期営業利益計画参考値

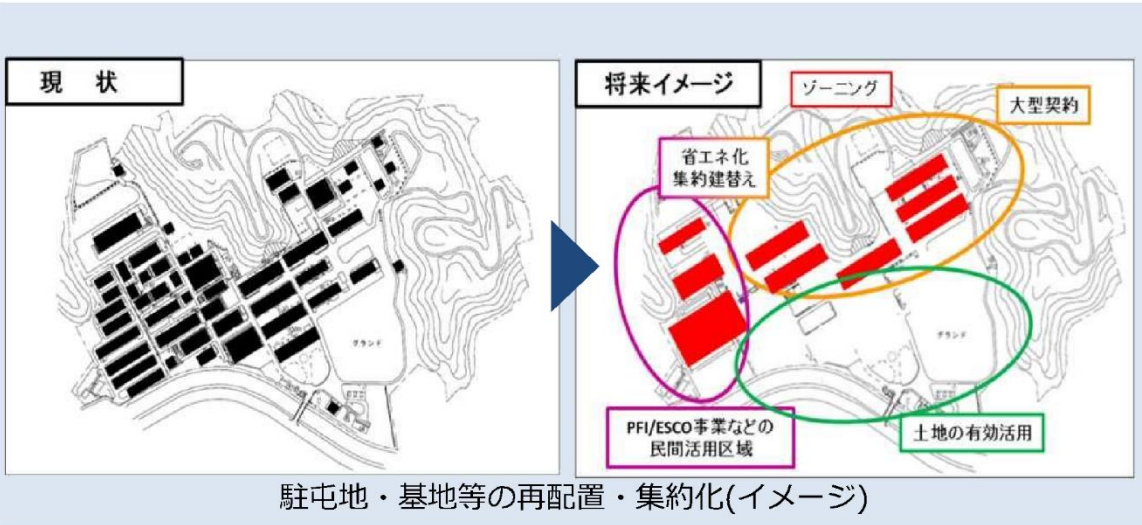
(単位：百万円)	参考値	前期比	
		増減	比率
営業利益	11,100	5,019	182.5%
コンサルティング事業	8,068	1,469	122.3%
都市空間事業	3,306	4,252	-
エネルギー事業	2,276	▲698	76.5%
その他	▲2,550	▲4	-

自衛隊施設の最適化に伴うマスタープラン作成業務

発注者 防衛省

業務概要

- 自衛隊施設の強靱化に向けて、全国各基地・駐屯地の建物・施設を再配置・集約化するための計画を策定するマスタープラン作成業務。
- 日本工営・日本工営都市空間を含む共同体は北関東防衛局管内、九州防衛局管内の2件を受注。
- 対象地区の建物・施設の新設や建替、施設機能の集約化等による施設配置検討、建物・施設に付随する給水施設、電気施設等のユーティリティ設備の検討、エネルギー効率化検討を行い、それらを取りまとめた最適化マスタープラン作成を実施。



ラオス国フードバリューチェーン強化プロジェクト

発注者 JICA

業務概要

- ラオスでは、生産・流通・加工・販売に至る一連のフードバリューチェーン（FVC）の強化・連携促進を通じた農産物の付加価値向上を国家開発の重点課題としている。本業務は、ラオスにおける2040年までのFVC振興マスタープラン（MP）を策定することを目的とした技術協力。FVCの現況調査・分析、FVC振興に係る課題の設定、パイロット事業の実施を通じて、MPの策定、FVC関係者の連携強化、政府の政策実施能力の強化を図る。
- 作物病害AI診断アプリ開発、改良種子の導入、複合経営による気候変動リスク軽減等、様々な企業との連携を通じた活動を後押ししている。これらの活動を通じて、ラオス政府の政策実施能力の強化や主体的な振興の支援、民間企業のFVC参画を振興する。



ラオス南部の伝統的大規模農産物市場

東海市とまちづくりに関する連携協定締結

業務概要

- 日本工営都市空間は愛知県東海市と「先進技術を活用したまちづくりに関する連携協定」を2023年9月に締結。
- 日本工営都市空間と東海市は、この協定に基づき合同で調査研究を実施。
- 具体的には太田川駅周辺地区内の約100haを対象に3D都市モデルを作成し、そのモデルを用いたスマートサービスについての試行に取り組む。特に、利便性の高いまちの形成に向けて、道路や公園の公共空間の使い方の可視化、動的モデルの組み込みやVR等により仮想空間での実験を行い、効果的な整備内容の検証を行う。



スマートシティ展開イメージ

グレート オーモンド ストリート小児病院 再開発事業

発注者

グレート オーモンド ストリート病院

業務概要

- ロンドン・ブルームズベリーのグレート オーモンド ストリート小児病院の敷地内再開発。BDPは2014年以来監督・設計を担当。
- 世界クラスの小児治療と研究に適した設備を備え、より安全・快適な環境で子供達と家族をケアする施設を構築。現在マスタープラン再開発の一環として、正面玄関部分を含むエリアの設計を実施中。今期追加受注を獲得。
- BDPはBREEAM※をはじめ英国・北米の主要な環境評価手法のライセンスを保持しており、本事業もBREEAMの高評価取得を目指す。

※イギリス建築研究財団(BRE : Building Research Establishment)が開発し運用している建物の環境性能を評価するためのシステム



グレート オーモンド ストリート病院

英国Tollgate蓄電所 商用運転開始

業務概要

- 当社グループでは2014年から英国で蓄電池事業に参入。
- 案件投資、制御システム納入、EPC（設計・調達・建設）工事と段階的に事業を展開。
- オランダの現地法人Nippon Koei Energy Europe B.V.が、開発、計画、EPC、およびプロジェクト全体のとりまとめを行ったTollgate蓄電所が、2023年7月に完工・運転開始。
- ベルギーを本拠地にアグリゲーション事業を展開するYUSO社が市場取引と運用システム開発、日本工営福島事業所が制御システムの開発・製作を行い、グループ内でのワンストップ・共創を実現。
- 大型蓄電池の維持管理をしながら運営ノウハウを蓄積中。



蓄電所（49.5MW/49.5MWh）全景

新京葉変電所 変圧器増設工事

発注者

東京電力

業務概要

- 工業団地の整備が進む千葉県千葉ニュータウンおよび印西市の電力需要増加に対応するため、新京葉変電所に変圧器を増設する工事。
- 当社は2018年に同変電所の8号および5号変圧器新設工事を担当。2022年に2期工事として6号変圧器増設工事に着手し、2023年8月に竣工。
- 土木工事の既設変圧器基礎撤去では、周辺地域への騒音・振動抑制、工期短縮を図るため、基礎構造物解体で実績があるCRC工法を採用。本工法を採用した結果、運転中の設備、周辺環境に影響を与えることなく全体工期の短縮（3分の2）を実現。



6号変圧器（275kV/154kV、450MVA）



IRに関するお問い合わせ

ID&Eホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション室

TEL:03-5276-2454 MAIL:c-com@n-koei.co.jp

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なることが起こりえます。